

日本精神保健社会学会

平成 28 年 9 月 15 日

THE JAPAN ASSOCIATION OF
MENTAL HEALTH SOCIOLOGY

事務局：栃木県宇都宮市豊郷台 1-1

帝京大学宇都宮キャンパス

<日本学術会議協力学術研究団体 No.1001>

滝澤武研究室内

TEL & FAX 028-627-7188

ニュースレター第 58 号

発行人：宗像恒次

編集人：上田敏子、窪田辰政

第 22 回学術大会・総会のお知らせ（最終版）

●開催日：平成 28 年 11 月 23 日（水）祝日

●会場：筑波大学東京キャンパス

●大会テーマ：「愛着を再び紡ぐ社会」

●プログラム

第 1 部（10：00～12：00）

10：00～ポスター発表

12：00～昼食・休憩

13：00～13：30 学会総会

第 2 部（13：40～16：30）シンポジウム

○わかれた夫婦の子育てパートナーシップ

清水 知行氏 柚葉 美輝氏

私は柚葉美輝と結婚し子を授かりましたが、離婚しました。それは、私の度重なる不注意な発言の結果でした。離婚が現実味を帯び、子供の不安定な未来に心配を募らせましたが、『このままでは、幸せになって欲しい子供の養育に支障をきたす』と気付いた瞬間から『子供の為に』をスローガンに、私は言動や感情をコントロールし、美輝との会話に集中しました。そして、そのことが、恋愛的な愛情ではなく、博愛を生み出し、共に養育していく関係となりました。私は、この博愛が、愛着を再び紡ぐキーポイントになると考えています。

○里子とどのように愛着を紡いでいくか

能登 和子氏

（特定非営利活動法人 東京養育家庭の会 副理事長 東京都調布市民生児童委員）

短大卒業後 38 年間、児童養護施設にて、児童相談所から措置され入所してきた子

どもたちの児童養護に携わってきました。また、退職後は、養育家庭となり、これまで3人の里子を養育してきました。実親がさまざまな事情で養育困難におちいり、お預かりした里子と愛着を紡いでいこうとするプロセスには、想像を絶する出来事が次から次へと出てきます。こうした実践の中で学んで得てきた愛着の形成に関するさまざまなこと、その一端をお伝えできればと思います。

○コンパニオン・アニマルの問題行動から知る愛着の歪み

～動物の声を聞くアニマル・コミュニケーターの実践より～

宮本 眞奈美氏（日本ヒーリングサポート協会 アニマルコミュニケーター）

ペットは家族の一員として暮らしていますが、擬人化され飼い主と共依存になるケースがみられます。癒やしを求め動物を飼っても自動的に愛着の再構築にはならず、むしろ動物の問題行動で日常生活が破綻することもあります。しかしこの問題行動は飼い主の抱える問題を映しています。動物を通して見える、飼い主の愛着の問題と介入について皆さんと考えたいと思います。

司会進行 宗像 恒次（情動認知行動療法研究所 筑波大学名誉教授）

17：30～ 懇親会

参加費： 一般：4,000円（第3部のみ参加 3,000円）

会員：3,000円

学生（大学院生含む）：2,000円

（＊学生の方は受付で学生証の提示をお願いします）

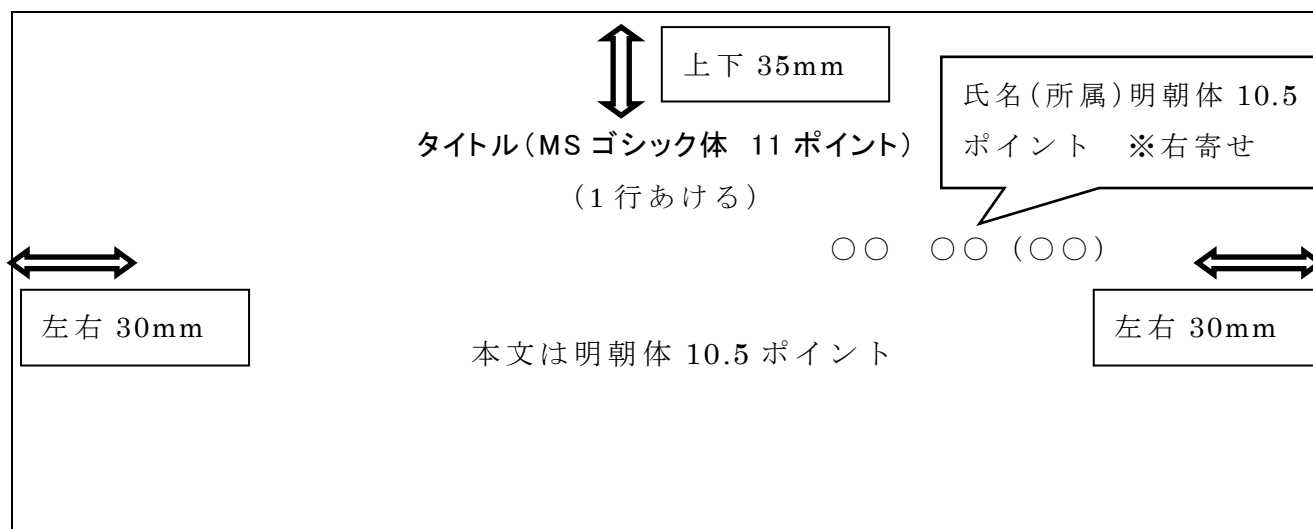
★ポスター発表の演題募集★

発表希望者は演題名を **9月23日(金)**までに事務局へお申込みください（FAXまたは郵送にて）。抄録については、**10月21日(金)**までに事務局まで提出してください。抄録は、下記のフォーマットで作成願います。なお、共著者は本学会会員である必要があります。学会員でない方は、速やかに入会手続きをお願いします。

ポスター発表のスペースは、90cm×180cm（A4用紙で20枚程度貼れるスペース）を予定しています。日頃のご研究の成果をぜひこの機会にご発表ください。

なお、円滑な会の運営のため、発表者の方は抄録提出時に**連絡先（電話番号とメールアドレス）**をお知らせください。連絡先については事務連絡用のみに使用します。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

抄録のフォーマット (A4 サイズ)



研究トピックス Vol.2

新しい時代の保健科教育に向けて

上田 敏子 (愛媛大学)

学校教育現場では、様々な課題が山積している。たとえば、児童生徒の食生活や生活リズムの乱れ、スマートフォンをはじめとする情報伝達機器による新しいタイプのいじめの増加等々、時代の変化と共に子どもを取り巻く環境も激変し、心身の健康・安全の確保が危惧されている。こうした児童生徒の健康・安全の保持・増進に関する教育は、小学校では体育のうち「保健領域」、中学校では「保健分野」、高等学校では「保健」が担っている。保健の授業では、生活習慣、環境保健、感染症予防、生涯の防止、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等々、多岐の内容を学習する。昨今の時代の流れの中で、改めて心身の健康の大切さを学ぶ保健の意義が注目され、期待が寄せられつつある。しかしながら、保健の配当時間数は体育と比べ圧倒的に少なく、体育偏重により、保健の授業研究や指導方法の工夫が十分に進んでいない現状が散見される。

こうした背景を踏まえ、私の研究では今日の保健科教育が抱える課題を明らかにし、将来にわたって自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成できる保健科教育を推進していくことを目指している。具体的には、中学校保健体育科教員を対象に、保健科教育に関する質問紙調査を行い、現状の指導方法の実態や課題について明らかにする。変化の著しい社会であるがゆえに、学校教育における保健科教育の意義を示し、より充実した学びの実現を図る必要がある。そのための基盤となる調査研究を推進していきたい。

日本精神保健社会学会入会のご案内

1. 主旨

今日ほど、社会諸科学がその社会的責任を果たすことを必要とされている時代はないでしょう。とりわけメンタルヘルスの問題は、慢性化する内戦や犯罪に始まり、薬物依存、弱者虐待、閉じこもり、抑うつ、仕事中毒、セックス中毒など、国も内外に山積しています。

これまで産業社会を支えてきた近代科学技術は、感情を極力排し、事柄のみに基づいて判断し、評価する秩序を作り、豊かな物の生産と消費の基盤を発展させてきました。しかし、そうした感情を排する秩序を徹底して作れば作るほど、人と人との共感する心は失われるのです。そして、「自分の持つ本当の感情は何か」を見失い、無気力に閉じこもったり、あるいは食、セックス、地位などの快感を求めることに逃避したり、弱い立場にある者を差別し、様々なかたちの暴力を加えるのです。ところが、これらの問題は、これまでの各ローカル社会における従来の秩序のあり方では、解決できなくなってきました。

そこで私達は、自分や相手の本当の感情を見だし、共感しあうメンタルヘルスを求めています。そして、それを個人にとどまらず、集団、社会に、さらには文化として表現する具体的かつ実践的な対応策を導き出すためには、精神保健社会学の理論と方法論とが必要であります。

学会長には情動認知行動療法研究所の宗像恒次氏が選出され、理事達の顔ぶれも社会学、心理学、保健学、社会福祉学、精神医学、公衆衛生学と多岐に渡っています。

様々な分野の方々が、入会下さるよう期待しています。

2. 指針

- ①メンタルヘルスの背景となる社会・文化的構造と変動を、社会学的な視点から研究をすすめて、世論の形成に寄与し、社会的貢献を果たす。
- ②大会やイベントにワークショップ形式を導入し、学会の運営に会員が積極的に参画する。
- ③国際的にも仲間づくりをすすめていく。
- ④建前を排し、本音で語り合える仲間や研究グループを形成する。
- ⑤社会学を専攻する学生達に、夢を与えるような仕事をする。
- ⑥大会やイベントごとに論文や本などをまとめて出版し、成果を社会に還元して行く。

3. 入会申し込み方法

送付先：〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 帝京大学宇都宮キャンパス 滝澤武研究室内

日本精神保健社会学会事務局 TEL. 028-627-7188 FAX. 028-627-7188

入会金：5,000 円

会 費：通常会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員一口 10,000 円（一口以上）、機関会員 20,000 円

送金先：郵便振替 00170-6-613036 加入者名 日本精神保健社会学会

※ FAX、または郵送にてお申込ください。承認後、振込み手続き等をご送付します。

日本精神保健社会学会入会申込書

フリガナ 氏 名		生年月日	西暦 年 月 日 歳 (男・女)
会員種類	通常会員・学生会員・賛助会員・機関会員 を希望する	連絡先	所属先・自宅 を希望する
所属先名 及び住所	〒 TEL. FAX.		
自宅住所	〒 TEL. FAX.		
所 属 系 (○印で)	社会学・文化人類学・経済学・哲学・心理学・社会福祉学・教育学・看護学・医学・保健学・栄養学・ 体育学・地理学・行政学・政治学・その他()		
関心領域			